

論文種別を記載 (←MS ゴシック, 12 pt)

レイアウト案作成フォーム (←論文タイトル)

(MS 明朝, 14 pt, Bold)

第一著者*¹⁾・第二著者²⁾・第三著者³⁾ (MS 明朝, 11 pt)

Title of Paper

(Times New Roman, 14 pt, Bold)

First AUTHOR*¹⁾, Second AUTHOR²⁾ and Third AUTHOR³⁾ (Times New Roman, 11 pt)

Abstract: (9-point, Bold, Times New Roman) This is a template to prepare the draft layout of your paper (Article/ Review/ Development of System and Software/ Short Article/ Notes/ Lecture Note), which is requested after the paper is accepted. This template is designed for A4 paper. The main text of the paper is set in the 9-point size, including Abstract and References. Specific formatting options are assigned to the top page, sections (subsections) and some special words, which are shown in this template. The paper is set in a two-column format except for the top page and Japanese Abstract in the last page. You may prepare the draft layout only by pasting the text properly into this template so as to keep the formatting.

Key words: (9-point, Bold, Times New Roman) Keyword1, Keyword 2, Keyword 3, Keyword 4, Keyword 5 (5 or less)

1. はじめに (←MS ゴシック, 10 pt)

「投稿規定」の「C. 原稿の提出媒体と原稿の書き方」で指定されていますように、投稿論文が受理されて、最終原稿を提出する時には、

- ・最終原稿 (Word ファイル)
 - ・図表の画像ファイル (bmp, jpeg, png, tiff 等)
 - ・レイアウト案 (Word ファイルまたは PDF ファイル)
- を提出してください。

レイアウト案には図・表を希望のサイズに縮小して、希望の位置に貼り付けてください。レイアウト案は本文と図表の位置関係を印刷所に正確に伝えるためです。ただし、印刷所の設備ではフォント等が異なりますので、ご提出いただいたレイアウト案とは多少異なる可能性があることをご了承ください。

Windows + Word の組み合わせで作成するときの例を以下に説明します。ほかの環境で作成される場合にもこれに準じてください。

2. ページ設定

1 段組の表題部分と、2 段組となる本文ではセクションが区切れます。ページレイアウトの設定において、「文書全体」としたうえで設定をするようにご注意ください。

2-1. 余白 (←本文のフォント + Bold)

用紙のサイズは A4 です。

余白は次の通り。

- ・上 28mm
- ・下 20mm
- ・左・右 18mm

20XX 年 XX 月 XX 日受付 20XX 年 XX 月 XX 日受理 Received: day month year; Accepted: day month year

Geoinforum20XX (20XX 年 XX 月, 開催地) で一部講演。←該当する場合に記述

*1) 第一著者の和文の所属と住所, 英文の所属と住所, E-Mail: #####@#####

2) 第二著者の和文の所属と住所, 英文の所属と住所, E-Mail: #####@#####

3) 第三著者の和文の所属と住所, 英文の所属と住所, E-Mail: #####@#####

は代表者。 indicates the representative author.

2-2. 文字数設定

「文字数と行数を指定する」とします。

- ・文字数・・・56 文字
- ・行数・・・49 行

3. 文章の書式

表題, 見出し, 本文などで利用するフォントおよび文字の大きさについてまとめます。本文書はその書式に合わせて作成しています。

3-1. 表題の書式

1 ページ目の最初は以下の書式で作成してください。

- ・論文種別 (MS ゴシック, 12 pt)
 <1 行空白(標準)>
 - ・論文タイトル(和文) (MS 明朝/Times New Roman, 14 pt
+太字体)
 <1 行空白(標準)>
 - ・著者名(和文) (MS 明朝/Times New Roman, 11 pt), 番号
は上付き。代表者に*印をつける。代表者とは, 投稿時に
添付した「保証書」に共著者を代表して署名した者のこと
である。投稿論文に対して著者全員が責任をもつのは
当然であるが, 代表者は論文にかかわる諸事項の問い合
わせ窓口の役割を担う。
 <2 行空白(標準)>
 - ・論文タイトル(英文) (Times New Roman, 14 pt+太字体)
 <1 行空白(標準)>
 - ・著者名(英文) (Times New Roman, 11 pt), 番号は上付き
代表者に*印をつける。
 <2 行空白(標準)>
 - ・英文要旨 (Times New Roman, 9 pt). 最初の「Abstract: 」
のみ太字体にする。
 - ・キーワード(英文) (Times New Roman, 9 pt). 「,」で区切
り, 5 個以内。最初の「Key words: 」のみ太字体にする。
 <2 行空白(標準)>
- ここまでの表題の部分であり, 段組みは 1 段とします。

3-2. 表題と本文の区切り

本文以降はセクションを区切って 2 段にします。

3-3. 本文の書式

章(大見出し)の前には 1 行開けますが, 次の節(小見出し)との間には行は開けません。

本文の句読点には, 「,」と「.」を用いてください。(), [], { }, < >などの括弧は半角活字を用いてください。本文のフォントは, 9 pt の MS 明朝/Times New Roman を用います。

3-4. 1 ページ目の脚注

1 ページ目の脚注には, 受理日や著者の所属などを記載します。このスペースには, テキストボックスを用います。

大きさは, 幅はテキストの幅に合わせ, 高さは内容の行数に合わせます。

テキストボックスの位置は, 脚注の文字の左端が本文の左端に合うようにします。

内容は次の通り。

- ・行間・・・固定値 12 pt
- ・文字・・・MS 明朝/Times New Roman, 8 pt
- ・1 行目・・・半角スペース 115 文字+取り消し線
- ・2 行目・・・受付日・受理日(日付はわかる範囲で記入)
を和文と英文の両方で書く。
- ・学会発表等の論文に関する説明がある場合, 記述します。
- ・著者の所属機関名, 住所, e-mail address を和文と英文の両方で書く。e-mail address の有効期限が短いなど特殊な事情がある場合は, 代表者以外の e-mail address を省略してもよいが, 将来の連絡用に全員の e-mail address を記入するのが望ましい。

3-5. 謝辞

「謝辞:」のみを, MS 明朝ボールドにします。改行せずに文章を続けます。

(例)

謝辞: 本論文に助言をいただいた～～～に感謝いたします。

3-6. 文献

文献の見出しは, 章番号はつけず, MS ゴシック, 10 pt, 中央揃えとします。

引用文献は論文末に一括し, 日本人, 外国人の別は問わず著者名のアルファベット順に, 同じ著者のものは年代順に並べる。各文献は, 2 行目以降は, 全角 1 文字分下げる。

・単行本の書式

著者名(出版年) 書名. 出版者, 総ページ数. ISBN
英文の書名は先頭大文字のイタリックにする。総ページを示す場合は** p.とし, 当該ページを示す場合は pp. **-** とする。ISBN が付けられた書籍には ISBN を明記する。

(例)

Davis, J. C. (1973) *Statistics and Data Analysis in Geology*. John Wiley & Sons, New York, 550 p. ISBN-13: 978-0471198956

・雑誌に掲載された論文の書式

著者名(発行年) 論文のタイトル. 雑誌名, vol. **, no. **, pp. **-**.

(例)

杉村美緒・久保大樹・柏谷公希・小池克明(2013) 京都盆地の水理地質構造の三次元モデリング. 情報地質, vol. 24, no. 2, pp. 72-73.

・DOI(digital object identifier)が付与されている文献では, [https://doi.org/**\(doi\)](https://doi.org/**(doi)) の形式で示す。

(例)

Hoang, N. T., Hong, N. T. and Koike, K. (2019) High versatility and potential of spatial data analysis with R programming. *Geoinformatics*, vol. 30, no. 1, pp. 3-14.
https://doi.org/10.6010/geoinformatics.30.1_3

升本眞二・塩野清治・Venkatesh Raghavan・坂本正徳・弘原海 清(1997) 地質情報と GIS ー地質情報の特殊性についてー. 情報地質, vol. 8, no. 2, pp. 99-106.

https://doi.org/10.6010/geoinformatics1990.8.2_99

- ・ウェブサイトを引用する場合, 下に例示するような書式で, URL と確認日または参照日を明記する.

(例)

国土地理院 (2019) 基盤地図情報ダウンロードサービス.

<https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php>(確認: 2020/09/17)

MapServer (2015) An Introduction to MapServer.

<http://mapserver.org/introduction.html>(確認: 2020/09/17)

3-7. 和文要旨

最終ページに, ページ幅と同じ幅の四角枠を作成し, その中に, 和文要旨を1段で作成します. 約400字以内にまとめてください. 英文要旨(Abstract)との同一性に留意してください.

文字の大きさは本文と同じ9ptにします. 次の内容を記載します.

- ・要旨・・・MSゴシック, 左揃えで1文字開ける
<1行空白(標準)>
- ・論文タイトル・・・MSゴシック, 中央揃え
<1行空白(標準)>
- ・著者名・・・右揃え
<1行空白(標準)>
- ・和文要旨
<1行空白(標準)>
- ・キーワード・・・「キーワード:」のみをMSゴシック.
四角の枠を図形で作る場合, 塗りつぶしなしにします.
文章入力のために, 文献の後でセクションを区切り, 1段にします.

テキストボックスを利用する場合, ページ幅全体を利用するようにします.

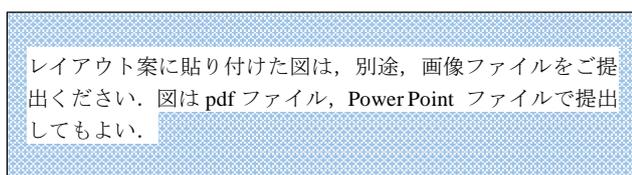
4. 図・表

図, 表の番号は, 第1図(Figure 1), 第1表(Table 1)のようにつけます. 図や表が大きい場合には, テキストボックスなどを利用して, 本文と重ならないようにレイアウトしてください.

4-1. 図

図の番号とタイトルおよびキャプションは図の下につけます. 図が片側1段の幅に収まるときの例を次に示します.

<<図と本文の間は1行空けます>>



第1図 図のキャプション(MS明朝/Times New Roman, 8pt). 2行目以降はキャプションの左位置を揃える.

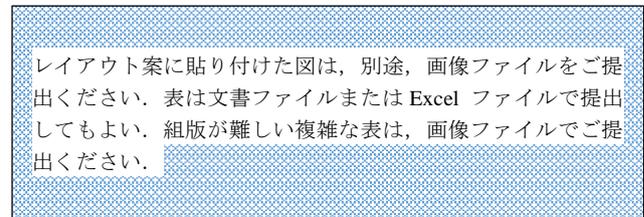
<<図と本文の間は1行空けます>>

4-2. 表

表の番号とタイトルおよびキャプションは表の上につけます. 特に必要な場合は追加説明を表の下に入れることもできます. 表が片側1段の幅に収まるときの例を次に示します.

<<表と本文の間は1行空けます>>

第1表 表のキャプション(8pt, 中央揃え)



<<表と本文の間は1行空けます>>

4-3. 図表のレイアウト

図表は原則として1段(半ページ幅)または2段(全ページ幅)に収めてください. 図表が全ページ幅に収まらない場合は, 例外的に横向きに変えてかまいません.

5. Word サンプル文書

このファイルは, Word(docx形式)のサンプル文書です. 基本的なフォントの仕様を合わせたものになっています. タイトルや文章を置き換えてご利用ください.

さらに, Wordでの書式を設定しやすくするために, 「スタイル」機能において, 『情報地質』の書式に対応するものを作成しています. 表題と本文に分けて, 説明します.

5-1. 表題スタイル

表題におけるスタイルは次の通りです.

- ・「論文種別」
- ・「論文タイトル」・・・和文・英文
- ・「著者名」・・・和文・英文
- ・「Abstract」・・・Abstract・Key words

5-2. 本文スタイル

本文には見出しやキャプション, 箇条書き, 脚注などを利用します.

- ・「標準」・・・本文用のスタイル
(段落の1文字目を開けます)
- ・「大見出し」・・・章番号
(1. はじめに などのスタイルです)
- ・「小見出し」・・・節番号
(2-1. 余白 などのスタイルです)
- ・「1文字ぶら下げ」・・・2行目以降を1文字下げるときのスタイルです. 箇条書きや文献に利用します.
この箇条書きもこのスタイルです. Wordの箇条書きの機能は使わず, 行頭文字の「・」(中黒点)を入力して, 2行目以降を全角1文字分下げます.
- ・「ぶら下げなし」・・・字下げを行わないスタイルです.

中央揃えをするときはこのスタイルを適用した後、中央揃えの操作を行ってください。

- ・「図キャプション」・・・図の下につけるキャプション用
- ・「表タイトル」・・・表の上につけるタイトル用
- ・「文献見出し」・・・MS ゴシック, 10 pt, 中央揃え

6. おわりに

このファイルは、Word(docx 形式)のサンプル文書です。基本的なフォントの仕様を合わせたものになっています。タイトルや文章を置き換えてご利用ください。

謝辞：謝辞はこの部分に書いてください。

文 献

(著者名のアルファベット順に並べた例)

Davis, J. C. (1973) *Statistics and Data Analysis in Geology*. John Wiley & Sons, New York, 550 p. ISBN-13: 978-0471198956

Hoang, N. T., Hong, N. T. and Koike, K. (2019) High versatility and potential of spatial data analysis with R programming. *Geoinformatics*, vol. 30, no. 1, pp. 3-14.

https://doi.org/10.6010/geoinformatics.30.1_3

国土地理院(2019) 基盤地図情報ダウンロードサービス.

<https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php>(確認：2020/09/17)

https://doi.org/10.6010/geoinformatics.30.2_51

MapServer (2015) An Introduction to MapServer.

<http://mapserver.org/introduction.html>(確認：2020/09/17)

升本真二・塩野清治・Venkatesh Raghavan・坂本正徳・弘原海 清(1997) 地質情報と GIS ー地質情報の特殊性についてー. 情報地質, vol. 8, no. 2, pp. 99-106.

https://doi.org/10.6010/geoinformatics1990.8.2_99

杉村美緒・久保大樹・柏谷公希・小池克明(2013) 京都盆地の水理地質構造の三次元モデリング. 情報地質, vol. 24, no. 2, pp. 72-73.

要 旨 (MS ゴシック, 9 pt)

論文タイトル (MS ゴシック, 10 pt)

第一著者・第二著者・第三著者

投稿論文が受理されて、最終原稿を提出する時には、レイアウト案(Word ファイルまたは PDF ファイル)を提出してください。このファイルは、Word (docx 形式)のサンプル文書です。基本的なフォントの仕様を合わせたものになっています。タイトルや文章を置き換えてご利用ください。この和文要旨の字数制限は約 400 字以内です。英文要旨と和文要旨は文章表現に多少の差があったとしても、内容的に同一のものとなるように留意してください。

キーワード：(MS ゴシック, 9 pt) キーワード 1, キーワード 2, キーワード 3, キーワード 4, キーワード 5 (5 個以内)